

USER MANUAL

X1



SCAN for more

User Manual
Manual del usuario
Benutzerhandbuch
Manuale Utente
Manuel d'utilisation
取扱説明書



Manufacturer: Shenzhen Coospo Tech Co., Ltd
Address: 6F, Building A, Dingxin Science Park, Xinan Street, Baoan District, Shenzhen

Contact: +86 (755) 23594795 support@coospo.com
Website: www.coospo.com



AP-X1-RTN-4L-2520



ALL ABOUT PASSION

Basic parameters

Product Name	Mini Bike Pump	Product Model	AP-X1
Product Dimensions	72*53*30mm	Battery Capacity	500mAh(3.7Wh)
Inflation Pressure Range	3-120psi	Charging Port	USB Type-C
Pressure Measurement Range	3-150psi	Screen Size	16.25*14mm
Sensor Accuracy	±1psi	Input Parameters	5V-2A
Storage Temperature	-10°C-45°C	Charging Time	Less than 1 hour
Operating Temperature	Charging: 0°C to 45°C Discharging: -10°C to 45°C	Operating Noise	80 dB at 1 meter distance

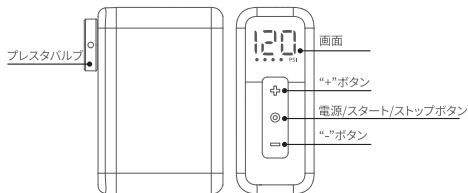
Table of Contents

English	1
Español	8
Deutsch	14
Italiano	20
Français.....	26
日本語	32

For more product details

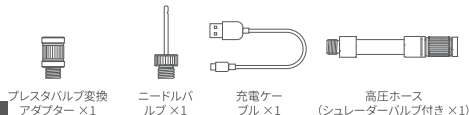
please visit: www.coospo.com/faq

コンポーネントの説明

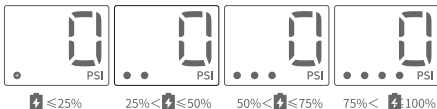


ご注意: 本説明書に掲載の製品、付属品、並びにユーザーインターフェースの各図示は、あくまで参考用であり、実際の製品を基準としてください。

付属品一覧



バッテリー表示と充電



充電について

充電ポンプをご使用になる前に、必ずフル充電を行ってください。
充電ケーブルを用い、5V USBアダプターに接続して充電してください。

充電中のバッテリーインジケター:

充電中:インジケターが点滅

充電完了:インジケターは点滅せず(ポンプは自動的にオフ状態)

ご注意:

- 充電中はポンプの電源がオフになっており、使用できません。
- 安全基準に適合したアダプターは別途ご購入ください。

使用方法

電源のオン/オフ

電源オン:

電源/スタートボタンを約2秒間長押しして、ポンプを起動します。

電源オフ:

電源を切る場合は、電源/スタートボタンを長押ししてください、また、3分間無操作状態が続くと、ポンプは自動的に電源オフになります。

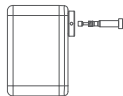
プレスタバルブ

ポンプのノズルをそのままタイヤのプレスタバルブに接続し、充填中はしっかりと押さえてください。

ご注意: 使用前に、タイヤバルブのナットを十分に締め上げ、固定されていることを確認してください。

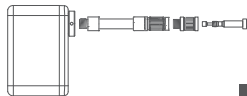
直接接続の場合

ポンプのプレスタノズルをタイヤのプレスタバルブに直接接続し、空気を注入してください。



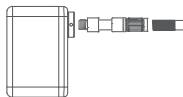
ホース経由の場合

ポンプと付属の高圧ホースを接続し、さらにプレスタバルブ変換アダプターを装着後、タイヤのプレスタバルブに接続してください。



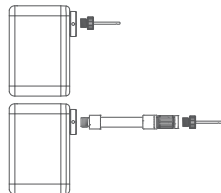
シュレーダーバルブ

付属の高圧ホースにポンプのノズルを接続し、その後タイヤのシュレーダーバルブに接続することで充填できます。



ニードルバルブ

ポンプのノズルをニードルバルブ、または付属の高圧ホースとニードルバルブの組み合わせに接続し、針を球の充填孔に挿入して充填してください。



製品の一般的な圧力値

製品カテゴリ	製品タイプ	推奨圧力範囲
自転車	12"、14"、16" タイヤ	30–50psi
	20"、22"、24" タイヤ	40–50psi
	26"、27.5"、29" マウンテンバイクタイヤ	45–65psi
	700c ロードバイク(クリンチャータイヤ)	100–120psi
	700c ロードバイク(チューブラータイヤ)	110–120psi
オートバイ	オートバイ・電動オートバイ用タイヤ	26–44psi
電動自転車	電動自転車用タイヤ	

ご注意: 推奨充填圧力の数値は参考値です。必ず充填対象製品の取扱説明書に従ってください。

一般的な単位換算:

1 bar = 14.5 psi、1 bar = 100 kPa、1 psi ≈ 1 lbs (実験室データに基づく)

測定方法

ポンプの電源が入っている状態で、圧力測定対象に接続すると、ディスプレイに現在の圧力が表示されます。

測定範囲は 3~150 psi です。

充填前の確認

安全のため、充填前に説明書等で正しい圧力設定を確認し、過充填による爆発や怪我を防いでください。

圧力に関する注意

自転車、電動自転車、一部のオートバイ・スクーターのタイヤには、適正な圧力がタイヤサイドウォールに表示されています。荷重に応じた圧力設定を必ずご確認ください。

プリセット圧力設定

ポンプの充填圧力は psi 単位で、3~120 psi の範囲で調整可能です。

プリセット圧力調整

充填前に、【+】または【-】ボタンを短押しして所望のプリセット圧力を調整します。長押しすると、より素早く調整できます。

調整中は、ディスプレイ上の数字が点滅して目標圧力を示し、通常点灯時は実際の圧力を表示します。設定値は記憶され、次回起動時に前回の値が表示されます。

充填開始

電源オン状態で、スタート/ストップボタンを短押しすると充填が開始され、ディスプレイにリアルタイムの圧力が表示されます。圧力変化が1分以上見られない場合、充填は自動停止しますので、タイヤ等に漏れがないか確認してください。充填中は約80dBの騒音が発生します。防音対策を講じてください。

充填停止

設定圧力に達すると、ポンプは自動的に停止します。手動で停止する場合は、再度スタート/ストップボタンを短押ししてください。

特別な注意

充填圧力がポンプの範囲外(例: 気球、玩具、浮き輪など)の場合、自動停止機能は働きません。十分ご注意ください。

ノズルの取り外し

充填完了後、ノズルおよびホースは高温になっています。取り外す際は火傷にご注意ください。また、取り外し時に少量の空気が漏れる場合がありますので、迅速に作業を行ってください。

注意事項

本製品はおもちゃではなく、16歳以上の方の使用を推奨します。

内蔵のリチウム電池およびDCモーターは、分解・衝撃・圧迫・切断を行わないでください。直射日光や過熱、衝撃、水没を避け、火災や爆発を防止してください。

保管温度: -10°C ~ 45°C。端な温度はバッテリー寿命を縮めます。3ヶ月以上使用しない場合は、定期的に充電してください。

製品から異常な音がする、または過熱している場合は、直ちに電源を切ってください。充填中は状況を常に監視し、過圧にならないようご注意ください。

異常が発生した場合は、再起動を試み、それでも回復しない場合はカスタマーサポートまでご連絡ください。

充電は、必ず適合アダプターおよび純正充電ケーブルを使用してください。

バッテリーの取り扱い

1. 分解・衝撃禁止: バッテリーの分解、衝撃、圧迫、切断は絶対に行わないでください。これにより爆発や漏液の危険性があります。

2. 膨張時の使用中止: バッテリーが著しく膨張している場合は、直ちに使用を中止し、適切に処理してください。

3. バッテリーコンパートメントの閉鎖確認: バッテリー室が完全に閉まらない場合は、直ちに使用を中止し、子供の手の届かない場所に保管してください。

4. 安全な廃棄: バッテリーは一般ゴミとして廃棄せず、地域の法令に従い、専門のリサイクル業者に引き渡してください。

トラブルシューティング

充填速度が遅い場合	1.バッテリー残量が十分か確認する。 2.ホースからの漏れがないか確認する。 3.ノズルやホースの接続部がしっかり締まっているか確認する。 4.充填対象物から漏れが発生していないか確認する。
電源オン後に充填できない場合	1.バッテリー残量を確認する。 2.現在のタイヤ圧がプリセット値を上回っていないか確認する。
正常に充填しているのに圧力がゼロと表示される場合	気球などの低圧充填製品は、本ポンプの測定範囲外となります。
ノズルをしっかり締めた後に自動で電源が切れた場合	電源/スタート/ストップボタンを長押しして再度電源を入れてください。
ホース接続時に空気漏れが発生する場合	ノズルを再度しっかりと締め直してください。
充填中にバッテリーインジケータの色が暗くなる場合	充填時はリチウム電池の電圧が低下するため、インジケータが暗くなることがあります。これは正常な現象です。
電源が入らない場合	バッテリーが十分に充電されているかご確認ください。
充填および圧力測定が行えない場合	1.正しいノズルインターフェースを使用しているか確認する。 2.プレスタバルブ使用時は、タイヤバルブのコアスクリュウが緩んでいないか確認する。 3.シュレーダーバルブ使用時は、タイヤバルブのコア部分が清潔で異物が付着していないか確認する。
エラーコード H、L	温度が測定範囲を超えています。室温で1時間冷却後、再度ご使用ください。
エラーコード E1	圧力が測定範囲を超えたため発生します。ノズルを取り外し、エラーが解除されるか確認してください。エラーが消えた場合は、充填対象の圧力が規定を超えていないかご確認ください。

問い合わせ



ウェブサイト: www.coospo.com



メール: support@coospo.com

注意

本取扱説明書に記載されている情報は参考用です。上記の製品は、メーカーの継続的な研究開発計画により、予告なく変更される可能性があります。

免責事項

本取扱説明書に記載されている情報は参考のためのものです。上記の製品は、メーカーの継続的な研究開発計画により、事前に発表することなく変更される可能性があります。

当社は、本取扱説明書または本取扱説明書に含まれる製品に起因または関連して生じる直接的または間接的、偶発的または特別な損害、損失および費用について、いかなる法的責任も負いません。



- 製品を開けて変更しないでください。
- この製品を分解したり、修理を試みたりしないでください。
- この製品は、正常で予想可能な操作条件下では安全です。
- 製品が正常に動作しない場合は、COOSPOサポートに連絡してください。
- 製品は、サービスや修理のために製造元に返却する必要があります。